

# 城東、初の甲子園

## センバツ 21世紀枠で選出



21世紀枠での選抜大会出場が決まり、帽子を投げ上げて喜ぶ城東の選手たち＝同校

第95回記念選抜高校野球大会（3月18日から14日間、甲子園球場）の出場36校を決める選考委員会が27日、大阪市の毎日新聞本社で開かれ、徳島県からは21世紀枠で城東高校が選ばれた。春夏通じて初の甲子園出場となる。県勢の選抜大会出場は2年連続で、21世紀枠で選ばれるのは2019年（第91回大会）の富岡西以来4校目。戦力以外の要素も加味される21世紀枠は、全国9地区の候補校のうち、東日本と西日本から各1校、全体から1校の計3校が選ばれ、城東は西日本から選出された。本から選出された。城東野球部は1996年創部。昨秋の県大会は部員13人（マネジャー1人含む）で準決勝に進出した。四国大会出場は逃したが、文武両道を校是に掲げる県内有数の進学校であることに加え、選手が練習メニューを考案し、一般選考で出場の可能性があった鳴門は選出されなかった。組み合わせ抽選会は3月10日に開かれる。「頭と足を使う野球」を目指している点などが評価され、四国地区の21世紀枠候補校に選ばれていた。